

四才児の保育室

つ　た　口　山

保育室は同じ規格で一律に設営されるものではなく、四才児には四才児の発達段階に即して、よりよき成長を助けるための、快適な部屋の設営がなされなければ、真の幼児教育は出来ないと考えます。

そこで私は、どんな部屋を与えたならば、四才児の子どもが喜んで、幼稚園生活を心から楽しむことが出来るかということを考え、私の園で近い将来に建築する場合の設計の理想と夢を述べてみたいと思います。

私の園は高台にありますので、その地勢を利用して南向きに図の如き状態に建ててみたいと思います。

一部屋の広さは二十坪、廊下、テラスなどは一間半ずつじゅうぶんととり、全部両隅に戸を開くことの出来るようにして、全園児が直ちに廊下、テラス、運動場へ出ることの出来るようにします。

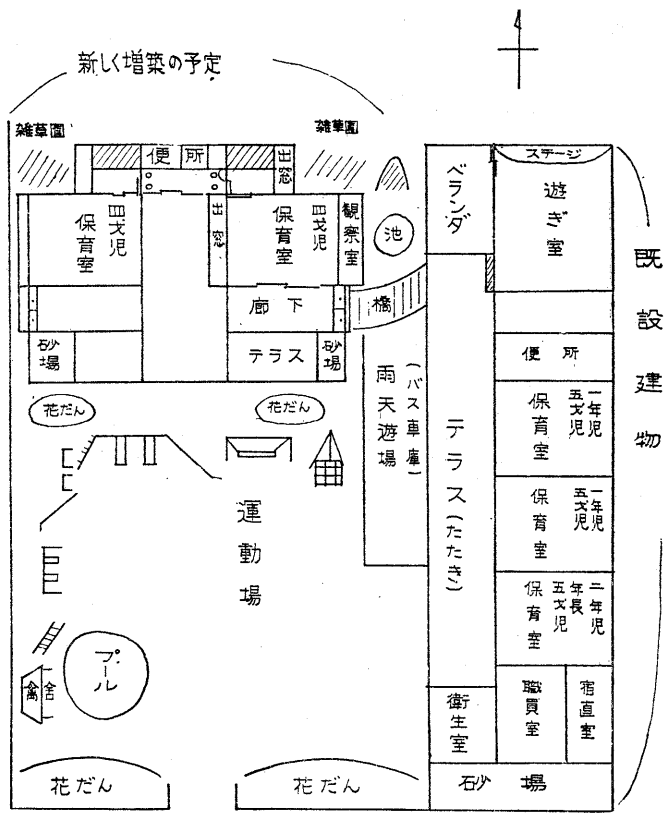
二十坪の保育室は、十六坪（四坪四方）の間を、保育作業をする場所とし、坪四の

控の部屋を作り、絵本をみたり、ままごと遊びをするのに落着いて、小グループで、楽しむことの出来るように配慮します。そしてこの部屋には二畳たたみを入れて、坐ってままごと遊びやお客様ごっこの出来るようにします。応接セットや、ラジオ、蓄音器などの器具も設置して、子どもたちに家庭的雰囲気を楽しむことの出来る部屋にしたいと思います。

便所も部屋から直ちに入ることの出来るように考慮して設営することが、四才児においては、特に必要だと思えます。一度外に出て、わざわざ下靴と取替えて、ある距離を、馳けていくということは無理だと思えます。また運動場で遊んでいてもそのまま、すぐ行くことが出来るように中央廊下を作って正面に入口を設けました。

部屋の前に、一間半ずつの廊下とテラスをつけることによって、雨の日も自由のびのびと、遊ぶことが出来るようになります。

第一図 全景

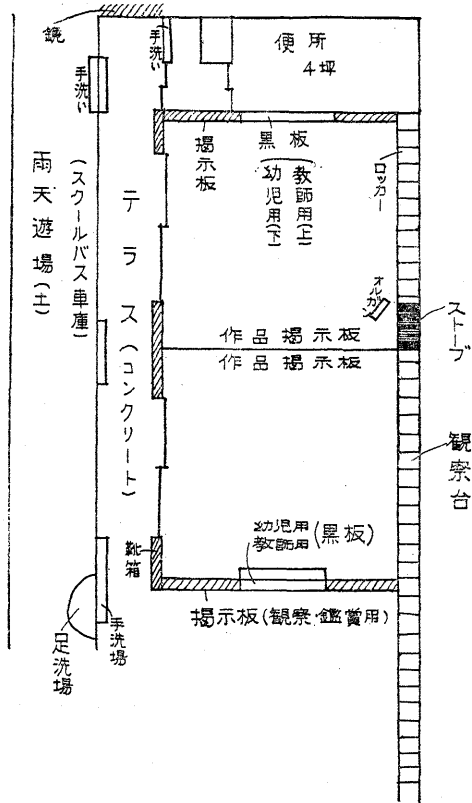


砂場も、各室の前、テラスの横に設けて、雨の日でも砂場で遊ぶことの出来るようにする。砂場の道具も、廊下の右側に、ロッカーを作ってしまうようにする。その上の台上には、金魚とか、小鳥とかを置いて、生物観察台として利用する。左側は、帽子、オーバー、レインコート掛を作って、かけさせる。

各室に観察室を付けて、保護者が自由に随時、子どもたちに気づかれないうで、観察することが出来るように、運動場から直接入れるように配慮して、設営する。

部屋と部屋との間に、中廊下として、たたきしておき、三輪車とか、箱車など、整理しておかせる。運動場からは、直接、下履のまま便所へ行けるために、たたきしておく方がいいと考える。またこの中廊下によって、一室、一室が独立の形をとることが出来るために、隣室の音響に、影響されることがなく、静かな雰囲気、保育をすることが出来る。学校の教室にしても、

第三図 既設五才児保育室拡大図



五才児の部屋は、小学校への連関ということも考えて、学校の教室のような形態が加味されていてもよいが、四才児の部屋は、家庭と学校との中間的存在としての、

配慮をして、設計されることが望ましい。図を御参照下さって、四才児の良き環境設定に役立てていただくことが出来れば幸と存じます。(名古屋青葉幼稚園長)

第十二回日本保育学会

大会予告

一、日時

昭和三十三年五月十七日(土)―
十八日(日)両日

一、会場

広島大学教育学部
(広島市東千田町)

一、プログラム

研究発表、研究部会
共同研究発表、公開講演

一、参加申込

正会員は当方より御案内いたします。準会員は当日受け付けますが、あらかじめ左記へ連絡されますことが御便宜です。

連絡先

広島市東千田町
広島大学教育学部
日本保育学会第十一回大会
準備委員会